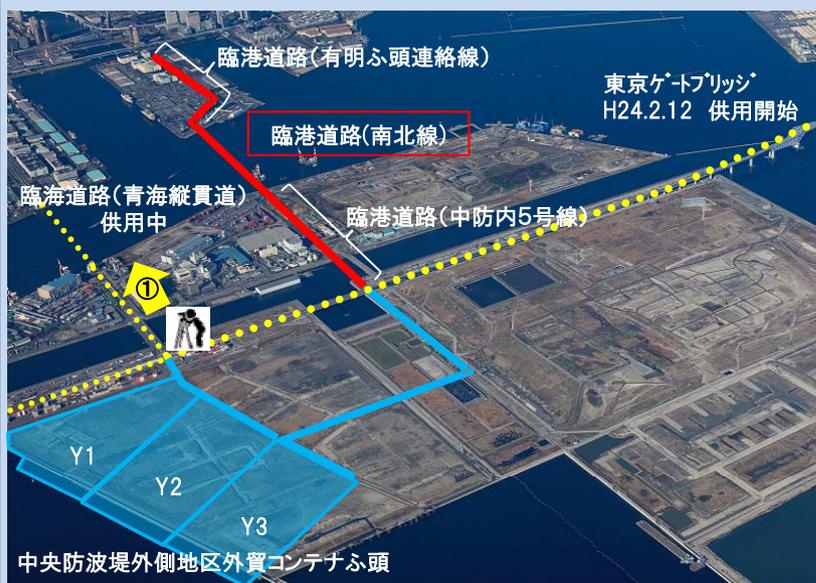


東京港臨港道路(南北線)の整備

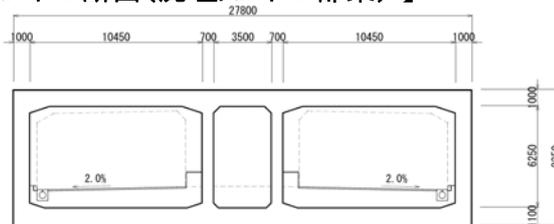
事業の概要

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う東京港において、中央防波堤地区の開発に伴う将来交通量需要の増大に対応し、円滑な物流を確保するため、中央防波堤地区と有明側を結ぶ主動線として臨港道路(南北線)を整備する。

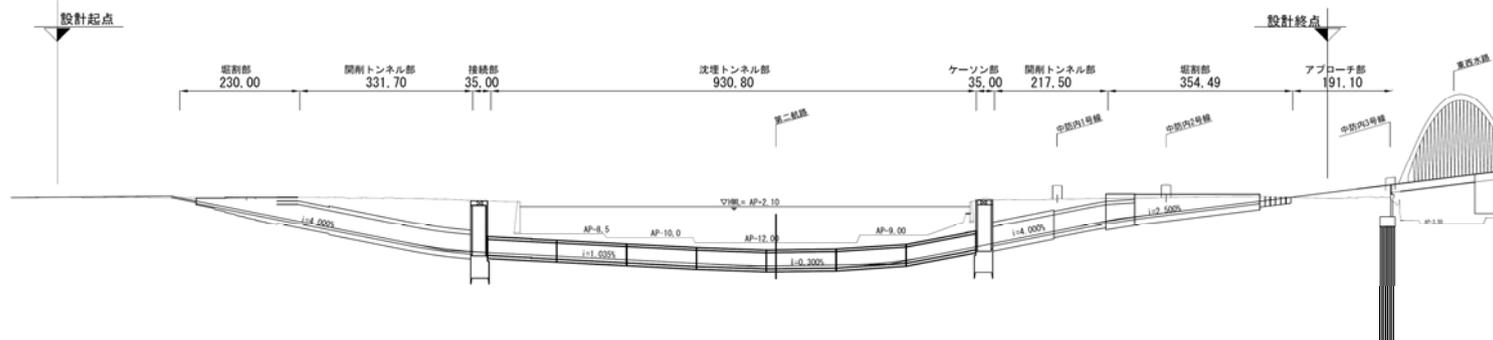
東京港臨港道路(南北線)



【トンネル断面(沈埋トンネル部案)】



【縦断図(案)】



道路諸元

- 起終点
10号その2埋立地～中央防波堤内側埋立地
- 道路延長
2.5km
- 整備期間
平成28年度～平成31年度
- 総事業費 (※事業費は臨港道路中防内5号線、同有明ふ頭連絡線を含む)
1,100億円
- 車線数
往復4車線

整備効果

- 既存の青海縦貫道と並行する臨港道路(南北線)を整備することで、交通の分散を図ることができ、道路混雑が緩和
- 港湾関連車両の分離によって、集客施設が立地するお台場における安全性が向上
- 輸送コスト削減を通じて背後圏企業の競争力を強化